

【第1部】基礎 (Q1~Q20)

意味 Q1. 助動詞「まほし」の意味として正しいものを選び。

ア 完了「～た」

イ 打消「～ない」

ウ 希望 (願望)「～たい・～てほしい」

エ 受身「～れる」

意味 Q2. 助動詞「たし」の意味として正しいものを選び。

ア 希望 (願望)「～たい・～てほしい」

イ 過去「～た」

ウ 推量「～だろう」

エ 断定「～だ」

接続 Q3. 「まほし」の接続として正しいものを選び。

ア 連用形

イ 未然形

ウ 終止形

エ 連体形

接続 Q4. 「たし」の接続として正しいものを選び。

ア 未然形

イ 終止形

ウ 已然形

エ 連用形

活用 Q5. 「まほし」の活用の型として正しいものを選び。

ア シク活用型（形容詞と同じ）

イ ク活用型（形容詞と同じ）

ウ 四段型

エ ナリ活用型

活用 Q6. 「たし」の活用の型として正しいものを選び。

ア シク活用型

イ ラ変型

ウ ク活用型（形容詞と同じ）

エ タリ活用型

活用 Q7. 「まほし」「たし」に共通して存在しない活用形を選び。

ア 未然形

イ 連用形

ウ 已然形

エ 命令形

接続 Q8. 「あらまほし」の「あら」の説明として正しいものを選び。

ア 四段動詞「あふ」の未然形

イ ラ変動詞「あり」の未然形

ウ ラ変動詞「あり」の連用形

エ 下二段動詞「ある」の未然形

接続 Q9. 「見たし」の「見」の活用形として正しいものを選び。

ア 未然形

イ 連用形

ウ 終止形

エ 已然形

訳 Q10. 次の文の訳として正しいものを選び。

この花を見まほし。

ア この花を見たい。

イ この花を見た。

ウ この花を見るな。

エ この花を見るだろう。

文体 Q11. 「まほし」が主に使われる文章として正しいものを選び。

ア 後の時代の口語的な文章

イ 漢文の白文のみ

ウ 古めかしく優美な文章

エ 法律の条文

文体 Q12. 「たし」が主に使われる文章として正しいものを選び。

ア 上代の祝詞

イ 和歌のみ

ウ 古めかしく優美な文章

エ 後の時代の口語的な文章

意味 Q13. 「まほし・たし」が表す希望は、基本的に誰の希望か。

ア 話し手自身（自己）

イ 聞き手のみ

ウ 第三者のみ

エ 神仏のみ

意味 Q14. 「まほし」を「～てほしい」と訳するのはどんな場合か。

ア 打消を伴う場合

イ 自分以外（他）への願望を表す場合

ウ 係り結びの場合

エ 和歌の場合

訳 Q15. 次の文の訳として正しいものを選び。

われは故郷へ帰りたし。

ア 私は故郷へ帰った。

イ 私は故郷へ帰るはずだ。

ウ 私は故郷へ帰りたい。

エ 私は故郷へ帰ってしまった。

活用 Q16. 「まほし」の終止形として正しいものを選び。

ア まほしき

イ まほしく

ウ まほしけれ

エ まほし

活用 Q17. 「たし」の連体形として正しいものを選び。

ア たく

イ たぎ

ウ たけれ

エ たから

接続 Q18. 接続の組み合わせとして正しいものを選び。

ア 未然形+たし

イ 連用形+まほし

ウ 未然形+まほし

エ 終止形+たし

接続 Q19. 「住まほし」の「住ま」は四段動詞「住む」の何形か。

ア 未然形

イ 連用形

ウ 終止形

エ 命令形

接続 Q20. 「乗りたい」の「乗り」は四段動詞「乗る」の何形か。

ア 未然形

イ 已然形

ウ 終止形

エ 連用形

【第2部】標準 (Q21~Q50)

接続 Q21. 四段動詞「言ふ」に「まほし」を付けた形として正しいものを選べ。

ア 言ひまほし

イ 言はまほし

ウ 言ふまほし

エ 言へまほし

接続 Q22. 四段動詞「聞く」に「たし」を付けた形として正しいものを選べ。

ア 聞かたし

イ 聞きたし

ウ 聞きたし

エ 聞けたし

接続 Q23. サ変動詞「す」に「まほし」を付けた形として正しいものを選べ。

ア せまほし

イ しまほし

ウ すまほし

エ さまほし

接続 Q24. 力変動詞「来」に「まほし」を付けた形として正しいものを選べ。

ア 来(き)まほし

イ 来(く)まほし

ウ 来(くる)まほし

エ 来(こ)まほし

接続 Q25. サ変動詞「す」に「たし」を付けた形として正しいものを選び。

ア せたし

イ すたし

ウ したし

エ さたし

接続 Q26. ナ変動詞「死ぬ」に「まほし」を付けた形として正しいものを選び。

ア 死なまほし

イ 死にまほし

ウ 死ぬまほし

エ 死ぬまほし

接続 Q27. 空欄に入る「上る」の形として正しいものを選び。

都へ（ ）まほし。

ア 上り

イ 上る

ウ 上れ

エ 上ら

接続 Q28. 空欄に入る「読む」の形として正しいものを選び。

夜もすがら物語を（ ）たし。

ア 読ま

イ 読み

ウ 読む

エ 読め

接続 Q29. 「見まほし」の「見」は上一段動詞「見る」の何形か。

ア 連用形

イ 終止形

ウ 未然形

エ 連体形

接続 Q30. 「起きたし」の「起き」（上二段「起く」）が連用形だと判断できる理由として正しいものを選び。

ア 「たし」が連用形接続の助動詞だから

イ 「起き」がイ段の音だから

ウ 下に句点があるから

エ 「起く」が四段活用だから

活用 Q31. 次の文の「まほしけれ」が已然形になっている理由を選び。

深き山の奥にこそ、心しづかに住まほしけれ。

ア 下に体言があるから

イ 係助詞「こそ」の結びだから

ウ 命令の意味を表すから

エ 打消があるから

活用 Q32. 「あらまほしき事なり」の「まほしき」が連体形になっている理由を選び。

ア 「こそ」の結びだから

イ 文末だから

ウ 「ど」が続くから

エ 下に体言「事」が続くから

活用 Q33. 「見たけれど」の「たけれ」の活用形として正しいものを選び。

ア 連体形

イ 未然形

ウ 已然形

エ 終止形

活用 Q34. 打消の助動詞「ず」に続けるときに使う「まほし」の形を選べ。

ア まほしから

イ まほしく

ウ まほし

エ まほしき

識別 Q35. 「散らまほしからぬ」の文法的説明として正しいものを選べ。

ア 「散ら」は四段動詞「散る」の連用形

イ 「まほしから」は未然形で、打消「ず」の連体形「ぬ」が続いている

ウ 「ぬ」は完了の助動詞

エ 「まほしから」は已然形

活用 Q36. 「聞かまほしう」の「まほしう」のもとの形として正しいものを選べ。

ア まほしから

イ まほしき

ウ まほしく

エ まほしけれ

訳 Q37. 次の文の訳として最も適当なものを選べ。

深き山の奥にこそ、心しづかに住まほしけれ。

ア 深い山の奥には住みたくない。

イ 深い山の奥に住んだ。

ウ 深い山の奥に住むはずだ。

エ 深い山の奥にこそ、心静かに住みたいものだ。

訳 Q38. 次の文の「あらまほしき」の訳として正しいものを選び。

少しのことにも、先達はあらまほしき事なり。(『徒然草』)

ア いてほしい

イ いたはずだ

ウ いるかもしれない

エ いてはならない

意味 Q39. Q38の「あらまほし」が表す希望の種類として正しいものを選び。

ア 話し手自身がそこへ行きたいという自己の希望

イ 先達の存在を願う、他への願望

ウ 打消の希望

エ 過去の希望

訳 Q40. 次の文の訳として正しいものを選び。

いま一度、都を見まほし。

ア 都を見た。

イ 都を見るだろう。

ウ もう一度、都を見たい。

エ 都を見てしまった。

接続 Q41. ラ変動詞「をり」に「まほし」を付けた形として正しいものを選び。

ア をりまほし

イ をるまほし

ウ をれまほし

エ をらまほし

接続 Q42. 四段動詞「食ふ」に「たし」を付けた形として正しいものを選び。

ア 食ひたし

イ 食はたし

ウ 食ふたし

エ 食へたし

活用 Q43. 打消の助動詞「ず」に続けるときに使う「たし」の形を選び。

ア たき

イ たく

ウ たから

エ たけれ

活用 Q44. 「聞かまほしきこと多かり」の「まほしき」の活用形を選び。

ア 已然形

イ 連体形

ウ 未然形

エ 終止形

活用 Q45. 次の文の「たけれ」の活用形と、その理由として正しいものを選び。

ふるさとの花をこそ見たけれ。

ア 終止形・文末だから

イ 連体形・体言が省略されているから

ウ 未然形・打消が続くから

エ 已然形・係助詞「こそ」の結びだから

【訳】 Q46. 次の文の「乗りたし」の訳として正しいものを選び。

われもその舟に乗りたしと申ししかど、許されず。

ア 乗りたい

イ 乗った

ウ 乗るだろう

エ 乗ってしまった

【活用】 Q47. 「まほし」の連体形として正しいものを選び。

ア まほしけれ

イ まほしく

ウ まほしき

エ まほしから

【活用】 Q48. 「まほし・たし」の活用と同じ型をもつ品詞を選び。

ア 動詞

イ 副詞

ウ 名詞

エ 形容詞

【訳】 Q49. 次の文の訳として最も適切なものを選び。

いかで都の便りを聞かまほしう思へど、たより絶えてなし。

ア なんとかして都の便りを聞きたいと思うけれど、便りはまったくない。

イ 都の便りを聞いたけれど、つまらなかった。

ウ 都の便りを聞くつもりはない。

エ 都の便りが聞こえてきた。

接続 Q50. 下二段動詞「受く」に「たし」を付けた形として正しいものを選び。

ア 受くたし

イ 受けたし

ウ 受かたし

エ 受きたし

【第3部】 応用 (Q51~Q80)

識別 Q51. 「めでたし」の「たし」の説明として正しいものを選び。

ア 希望の助動詞「たし」

イ 過去の助動詞

ウ 一語の形容詞「めでたし」の一部

エ 願望の終助詞

識別 Q52. 次の文の「がたし」の説明として正しいものを選び。

この山は越えがたし。

ア 希望の助動詞「たし」で「越えたい」の意

イ 完了の助動詞

ウ 願望の終助詞

エ 「～しにくい」を表す形容詞「難（がた）し」で、希望の「たし」ではない

識別 Q53. 「見たし」と「めでたし」を見分ける最も確実なポイントを選び。

ア 音の数を数える

イ 「～たい」と訳せるかどうかを確かめる

ウ 和歌かどうかを見る

エ 仮名遣いを見る

終助詞 Q54. 願望の終助詞「ばや」の接続として正しいものを選び。

ア 未然形

イ 連用形

ウ 終止形

エ 体言

終助詞 Q55. 次の文の「ばや」の意味として正しいものを選び。

いま一度見ばや。

ア 打消「～ない」

イ 仮定「～ならば」

ウ 詠嘆「～だなあ」

エ 自己の願望「～たい」

終助詞 Q56. 「てしがな」の説明として正しいものを選び。

ア 推量の助動詞

イ 自己の願望「～たいものだ」を表す終助詞

ウ 打消の終助詞

エ 完了の助動詞

終助詞 Q57. 願望の終助詞「もがな」の意味として正しいものを選び。

ア 禁止「～するな」

イ 過去「～た」

ウ 願望「～があればなあ・～であればなあ」

エ 推量「～だろう」

終助詞 Q58. 「まほし・たし」と「ばや・てしがな」の違いの説明として正しいものを選び。

ア 「まほし・たし」は助動詞で、活用して文中でも使える。「ばや・てしがな」は文末で言い切る終助詞

イ 意味が正反対である

ウ 「ばや」は漢文専用である

エ 「まほし」だけは訳すことができない

終助詞 Q59. 次の文に含まれる願望表現の組み合わせとして正しいものを選び。

いかでこのかぐや姫を得てしがな、見まほしと。(『竹取物語』)

ア 助動詞が2つ

イ 終助詞「てしがな」と助動詞「まほし」

ウ 終助詞が2つ

エ 係助詞と副詞

訳 Q60. 次の文の訳として正しいものを選び。

あはれ、よき友もがな。

ア ああ、友を許せない。

イ ああ、友は来ないだろう。

ウ ああ、友を許してしまった。

エ ああ、よい友がいればなあ。

文体 Q61. 「まほし」と「たし」の使い分けについて正しい説明を選び。

ア 「たし」のほうが古めかしい

イ どちらも漢文訓読専用

ウ 「まほし」は古めかしく優美な文章、「たし」は後の時代の口語的な文章で使われる

エ 「まほし」は男性専用の言葉

接続 Q62. 下二段動詞「出づ」に「まほし」を付けた形として正しいものを選び。

ア 出でまほし

イ 出だまほし

ウ 出づまほし

エ 出れまほし

接続 Q63. カ変動詞「来」に「たし」を付けた形として正しいものを選び。

ア 来(こ)たし

イ 来(き)たし

ウ 来(く)たし

エ 来(くる)たし

接続 Q64. ナ変動詞「往ぬ」に「たし」を付けた形として正しいものを選び。

ア 往なたし

イ 往ぬたし

ウ 往ねたし

エ 往にたし

識別 Q65. 「見まほし」も「見たし」もどちらも正しい形である。その理由を選び。

ア 「まほし」と「たし」の接続が同じだから

イ 「見る」が四段活用だから

ウ 上一段「見る」は未然形も連用形も「見」で同形だから

エ 実はどちらかが誤りである

識別 Q66. 「寝(ね)たし」の「寝」の活用形として正しいものを選び。

ア 未然形

イ 連用形

ウ 終止形

エ 已然形

訳 Q67. 「あらまほしからず」の訳として正しいものを選び。

ア あってほしくない

イ あってほしい

ウ あるはずがない

エ あったに違いない

活用 Q68. 「まほしく」と「まほしから」の使い分けとして正しいものを選び。

ア 「まほしく」は打消専用である

イ 時代によって使い分けた

ウ 「まほし」に未然形はない

エ 打消「ず」など助動詞に続けるときは「まほしから」を使う

訳 Q69. 「あらまほしき住まひなり」の訳として最も適切なものを選び。

ア 荒れはてた住まいだ

イ 住んではいけない家だ

ウ 理想的な（こうあってほしい）住まいだ

エ 仮の住まいだ

識別 Q70. 現代語「あらまほしい（理想的だ）」のもとの組み立てとして正しいものを選び。

ア 動詞「荒る」＋形容詞「ほし」

イ う変動詞「あり」の未然形「あら」＋助動詞「まほし」

ウ 名詞「あらま」＋形容詞「ほし」

エ 動詞「ある」＋助動詞「まし」

接続 Q71. 空欄に入る「散る」の形として正しいものを選び。

花も（ ）まほしき夕べなり。

ア 散り

イ 散る

ウ 散れ

エ 散ら

接続 Q72. 空欄に入る「帰る」の形として正しいものを選び。

ふるさとへ（ ）たしとのみ思ふ。

ア 帰り

イ 帰ら

ウ 帰る

エ 帰れ

訳 Q73. 次の文の訳として最も適当なものを選び。

君に今ひとたび会ひたしと思へど、かなはず。

ア あなたに会ったが、忘れてしまった。

イ あなたに会うはずがない。

ウ あなたにもう一度会いたいと思うけれど、かなわない。

エ あなたに会いたくない。

活用 Q74. 「会ひたく思ふ」の「たく」の活用形として正しいものを選び。

ア 未然形

イ 連用形

ウ 終止形

エ 連体形

識別 Q75. 「行きたし」と「行かまほし」の説明として正しいものを選び。

ア 「行き」は未然形である

イ 「行か」は連用形である

ウ どちらかが文法的に誤りである

エ 「行き」は連用形、「行か」は未然形で、どちらも正しい

活用 Q76. 「見たき人」の「たき」の活用形と働きとして正しいものを選び。

ア 連体形で、下の体言「人」を修飾する

イ 終止形で、言い切っている

ウ 已然形で、係り結びの結び

エ 未然形で、打消が続く

終助詞 Q77. 次の文の「てしがな」の接続として正しいものを選び。

いかでこの書を読みてしがな。

ア 未然形

イ 終止形

ウ 連用形

エ 已然形

文体 Q78. 「まほし」より後の時代の、口語的な文章で多く使われる希望の助動詞はどちらか。

ア まほし

イ たし

ウ ばや

エ もがな

訳 Q79. 次の文の訳として正しいものを選び。

この花は散らまほしからず。

ア この花は散ってしまった。

イ この花は散るに違いない。

ウ この花は散ってもよい。

エ この花には散ってほしくない。

総合 Q80. 「先達はあらまほしき事なり」の文法説明として正しいものを選び。

ア 「あら」はラ変「あり」の未然形、「まほしき」は連体形

イ 「あら」はラ変「あり」の連用形

ウ 「まほしき」は已然形

エ 「まほし」は完了の助動詞

【第4部】入試レベル (Q81~Q100)

総合 Q81. 記述問題「『まほし』と『たし』の違いを二点述べよ」で書くべき内容の組み合わせとして最も適切なものを選び。

ア 意味の違いと活用の速さ

イ 接続の違いと意味の違い

ウ 意味の違いと作者の違い

エ 接続の違い（未然形か連用形か）と、使われる時代・文体の違い

識別 Q82. 次の傍線部のうち、希望の助動詞であるものを選び。

ア めでたき御琴の音

イ ありがたきもの

ウ 都に上りたきよし申す

エ 堪へがたき暑さ

活用 Q83. 次の文の「まほしく」の活用形として正しいものを選び。

見まほしくはあれど、え行かず。

ア 連用形

イ 未然形

ウ 連体形

エ 已然形

接続 Q84. 次のうち接続が誤っているものを選び。

ア 聞きたし

イ 聞きまほし

ウ 聞かまほし

エ 聞きたき

活用 Q85. 次の文の説明として正しいものを選び。

かの人をこそ見まほしけれ。

ア 「まほしけれ」は命令形である

イ 「こそ」の結びで連体形になっている

ウ 「こそ」の結びで已然形「まほしけれ」になっている

エ 「見」は連用形である

訳 Q86. 次の文の訳として最も適切なものを選び。

いざ、もろともに都へ上らまほしけれど、身のいとまなし。

ア 都へ上ったけれど、暇がない。

イ 都へ上るはずだったのに。

ウ 都へ上りたくないなので、行かない。

エ さあ、いっしょに都へ上りたいけれど、暇がない。

総合 Q87. 「住まほしけれ」を文法的に説明したものとして正しいものを選び。

ア 四段動詞「住む」の未然形+希望の助動詞「まほし」の已然形

イ 四段動詞「住む」の連用形+「まほし」の終止形

ウ 下二段動詞の連用形+「まほし」の連体形

エ 「住ま」はナ変動詞である

識別 Q88. 次の文の「ゆかし」の説明として正しいものを選び。

奥山の紅葉ゆかし。

ア 希望の助動詞

イ 「見たい・知りたい」という意味をもつ一語の形容詞

ウ 動詞「行く」の活用形

エ 願望の終助詞

終助詞 Q89. 願望の終助詞の組み合わせとして正しいものを選び。

ア ばや・けり・つ

イ もがな・ず・じ

ウ てしがな・らむ・べし

エ ばや・もがな・てしがな

接続 Q90. 空欄に入る「知る」の形として正しいものを選び。

世の中の人々の心を（ ）まほしう思へど。

ア 知り

イ 知る

ウ 知ら

エ 知れ

活用 Q91. 次の文の「たけれ」の説明として正しいものを選び。

帰りたければ、とく帰るべし。

ア 已然形で、「ば」が付いて「帰りたいので」の意になる

イ 未然形で、仮定を表す

ウ 連体形である

エ 命令形である

訳 Q92. 次の文の訳として最も適切なものを選び。

花見にはまかりたけれど、人目つつまし。

ア 花見には行ったけれど、つまらなかった。

イ 花見には参りたいけれど、人目がはばかられる。

ウ 花見に行ってしまったので、もう帰れない。

エ 花見に行くはずがない。

識別 Q93. 次のうち「まほし」の使い方として文法的に正しいものを選び。

ア 花を見りまほし

イ 花を見るまほし

ウ 花を見てまほし

エ 花を見まほし

総合 Q94. 「聞かまほしう思へど」の「まほしう」について正しい説明を選び。

ア 已然形のウ音便

イ 未然形そのまま

ウ 連用形「まほしく」のウ音便

エ 終止形の変化形

総合 Q95. 「まほし」の組み立てがそのまま残った現代語を選び。

ア あらまほしい (理想的だ・好ましい)

イ まぼろし

ウ ほしいまま

エ ましてや

接続 Q96. 空欄A・Bに入る「行く」の形の組み合わせとして正しいものを選び。

都へ (A) たし。／都へ (B) まほし。

ア A:行か B:行き

イ A:行き B:行か

ウ A:行く B:行く

エ A:行け B:行か

訳 Q97. 次の文の訳として最も適当なものを選び。

かかる所にこそ住まほしけれと、人々言ひあへり。

ア こんな所には住みたくない、人々は言い合った。

イ こんな所に住んだと、人々は言った。

ウ こんな所にこそ住みたいものだ、人々は言い合った。

エ こんな所には住めないと、人々は嘆いた。

総合 Q98. 「まほし・たし」について誤っている説明を選び。

ア 意味はどちらも希望「～たい・～てほしい」

イ 「まほし」はシク活用型に活用する

ウ 「たし」は連用形に接続する

エ どちらも命令形がある

識別 Q99. 「いとありがたし」と「いま一度会ひたし」の「たし」の違いとして正しいものを選び。

ア 両方とも希望の助動詞

イ 前者は形容詞「ありがたし」の一部、後者は希望の助動詞「たし」

ウ 前者が助動詞で、後者が形容詞の一部

エ 両方とも形容詞の一部

総合 Q100. 「まほし・たし」を識別する最大のポイントを選べ。

ア 直前の活用形を見る（未然形+まほし／連用形+たし）

イ 文の長さを見る

ウ 和歌かどうかを見る

エ 会話文かどうかを見る
